

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/09/09～2021/10/09)

1. 勉学の状況

前期は授業を3つ履修します。スペイン語と英語の翻訳の基礎と第二外国語としての教育のためのスペイン語文法Ⅰ・Ⅱです。シラバスを確認し、先輩の履修も参考にしながら決めました。授業に出てみて詳しく考えようと思っていましたが、履修登録期間が意外と短く、事前に決めた授業のみを履修することにしました。

翻訳の基礎の授業は、異なる言語間・文化間でどのように情報を伝達するのか？翻訳するうえで気を付けるべきことは何なのか？など翻訳の理論について学ぶ授業です。興味深かったのは、外国語を翻訳するうえで外来性を重視するか適応性を持たせるか？についてです。非常に面白い授業ですが、抽象的な部分もあって難しいです。友達に授業について聞いてみたら、スペイン人にとっても難しいよ！と言われてしまい、少し安心したとともにしっかり頑張らないといけないと思いました。

教育のためのスペイン語Ⅰでは、文法ではなくまず言語教育についての基礎知識を学んでいます。言語の教え方の種類の変遷や、言語習得に有利な年齢など、言語学の範囲のようで少し難しいですが、自分自身が新しい言語を習得しようとしているので、より身近に感じられます。スペイン語学習者として、外国人としての意見を求められることが多いので、授業に参加している感じが強いです。生徒が積極的に意見を発表しているので、私もはやく堂々と話せるようになりたいと思いました。早速論文を読む課題が出て大変でした。

教育のためのスペイン語Ⅱでは、Ⅰと同じようにまず言語教育について学んでから、文法について勉強しています。日本で勉強したことが多く出てきて分かりやすいですが、文法用語をしっかり覚える必要があります。また細かいニュアンスの違いや、知らなかったルールが出てきて興味深いです。一番心配なのはグループ課題でしたが、なんとか一緒にやってくれる子が見つかりひとまず安心しています。

スペイン語が聞き取れないので、復習が大事です。Moodle にアップされる資料をじっくり読んでいます。授業は毎回録音して、家で聞き返しています。授業で頻出する単語を覚えて、少しずつ聞き取れるようになってきました。先生の話をちゃんと聞くために前の方に座るのが大事だと思いました。

2. 生活の状況

私にとって初めての海外で、全てが新鮮でした。生活の中で、自分の勉強した言語が通じることに感動しました。トルメス川や大聖堂等にも「本物だ！」と感動しました。またサラマンカの街並みは非常にきれいで、歩いているだけで楽しいです。まだ観光客気分です。バルに一人で入るチャレンジをして、いろんなスーパーに行っ、ZARA で洋服を買って、公園でダンスの練習をして、図書館やカフェで勉強して、自分のお気に入りスポットを探すのが楽しいです。

友人関係も良好です。最初の数日間、同居人とその友達がサラマンカを案内してくれました。ショッピングセンターから博物館や大聖堂まで連れて行って、寂しいと思う暇もないくらいでした。感謝でいっぱいです。また学校が始まってから、さらにたくさんの人と出会いました。スペイン語への不安ももちろんですが、新しく友人関係を作るのが久々すぎて最初は戸惑いました。でもなんとか自分から話しかけたり相手から話しかけてくれたりして、仲良くしてくれる人たちができました。またサラマンカには日本に興味がある・日本語を話せるスペイン人がたくさんいます。毎週木曜日に交流会があるとのことで参加してみたら、たくさん友達が出来て嬉しいです。スペイン語が分からなくても、アニメや登場人物の単語は分かるので、アニメや漫画の知識があつて本当によかったです。しかし、私はコミュ障です。せつかく勉強したから、スペイン語を使ってネイティブと話してみたい！と思ってもなかなかうまくいきません。それは私のスペイン語力が低いこともありますが、私の性格の問題もあると思います。留学を通して自分の性格も改善していけたらいいなと思っています。さらに日本人留学生が多いことも心強いです。書類の申請などの大事なことは日本語で相談できるので安心です。

ホームシックについてはあまりありません。元々一人暮らしなのもあるし、電話やLINEで家族や友人と連絡を取ることが出来ます。自分自身環境に適応しやすいのかなと思っています。食べ物や水に関するトラブルも特にありません。食べ物は美味しいし、価格も日本と同じくらいです。ただ太るのが本当に怖いので食べすぎには気を付けます。硬水で髪の毛がギシギシにもなりません。思っていたより安定した生活が送れているので、この先大変なことがあるだろうなと想像しています。

海外派遣プログラム報告書

(報告期間：2021/10/10～2022/1/31)

1. 勉学の状況

大学の前期の授業は12月に終わりました。スペイン語文法Ⅱの授業ではプレゼンがあり、自分なりに頑張って問題を解いてスライドを作りました。一緒にグループを組んでくれた子の協力もあって、先生にしっかり準備したねと褒めてもらいました。自分の中では全く上手じゃなかったのですが、先生の優しさと自分の準備不足を痛感しました。2週間と少しのクリスマス休みを挟んで、1月はテストや最終課題のための期間でした。翻訳の基礎の授業は最終課題がレポートのみでした。授業で教わった理論などをまとめたうえで、自分の興味がある映画の字幕翻訳について書きました。友達のノートなどを参考に自分で参考文献を探して読みました。先生は本を読むことが大事だと言っていたのもっとたくさん読んで課題に生かしたかったのですが、スペイン語や英語の論文を読むのは慣れていないので非常に大変でした。正直に言うと三年次論文や他の2つの授業の課題もあったので時間がありませんでした。もっと早くから計画的に始めていればさらに力がついたかと後悔しています。スペイン語文法Ⅰではグループ課題のレポート提出とテストが課されました。テーマはスペイン語の文法とそれを効果的に教えるための学習プランの提案でした。私たちはスペイン語と日本語における敬語や丁寧語について書きました。日本語とスペイン語の比較や文法の詳しいルールの分析を通してさらにスペイン語への理解が深まったと思います。スペイン語文法Ⅱでは、スペイン語の文の間違っている箇所を探して解説する課題が出ました。これはそこまで難しくなかったし、授業の復習にもなってよかったです。スペイン語文法Ⅰ・Ⅱは、スペイン語のネイティブが外国人の生徒に対してスペイン語を教えるための授業でした。私がいることで他のスペイン人にはない観点からスペイン語学習について考えることができるといいなと思っていたので、教えてもらうばかりではなく自分で考えを提案することができて嬉しかったです。

そしてスペイン語文法Ⅰ・Ⅱで初めてのテストがありました。基本は日本と同じ形式で、違うことはDELEと同様ボールペン必須であることぐらいでした。すべて記述式で、授業で出てきた理論を説明することや答えを自分で解説する必要があって、単に授業の内容を日本語で理解しただけでは解けないなと思いました。深く理解するために日本語で勉強したりするときもありましたが、スペイン語のまま勉強したことが効果的だったと思います。スペイン人の友達も難しかったと言っていて少し安心しました。

スペイン語のレベルが高くないのに大学の授業についていけたのは、何より周りの友達の存在が大きいです。グループワークを一緒に組んでくれたり、分からない箇所を親身になって教えてくれたり、課題提出の時におかしい表現がないかチェックしてくれたおかげです。本当にありがとうございます！！

後期の授業は、児童図書館学と日本語からスペイン語への翻訳とアジア社会学を受講します。課題やテストの準備に余裕を持って取り組めるように意識していきます。座学というより課題が重視されるらしいので、何ができるか楽しみです。

大学の授業以外にも無料のスペイン語講座を受講して、語学学校に通っています。文法の良い復習になるし、会話をする練習になって楽しいです。前回の報告書でも書いた通り、私は日本語でもコミュニケーションを取るのが苦手です。でもだんだん臆せずに話しかけられるようになってきたと思います。もう少しでテストがあるので緊張しています。

2. 生活の状況

コロナウイルスの感染者数が拡大しているので、遠出も大きなパーティーも出来ませんが、少人数でご飯を食べたりしています。本場のスペイン料理が美味しいのはもちろんですが、日本料理や中華料理、イタリア料理も美味しかったです。ただ日本でよく食べていた韓国チキン屋さんが無いのが非常に残念です。早くスペインに進出してほしいなと思います。家では自炊をしています。日本にいる時よりも時間があるので、とても簡単な料理を少しだけします。日本とほとんど変わらない料理が出来ると思います。またアジアンスーパーでみりんやうどん、鰹節なども手に入ります。私はキムチをよく食べます。

一人で行動するのも好きなので、カフェや図書館で勉強したりバルでお酒を飲んでみたり、映画館や博物館に足を運んだりいろいろチャレンジしています。映画館は日本よりも安いうえにさらに割引もあり、もっと行きたいと思っています。上映時間は日本のように昼間からではなくて18:00から0:00ごろまでで、夜行性のスペイン人に合わせた時間になっています。博物館は無料で入ることができることや割引があるところがあって、非常に嬉しいです。まだ制覇していないのでゆっくり回りたいと思っています。私が好きなのはアールデコ美術館と家の近くの絵画展示室です。アールデコ美術館の外観はステンドグラスがとても綺麗で、絵画から人形などの工芸品まで可愛い作品がたくさんあります。無料で入館できる時間があるのでその時を狙って行きます。絵画展示室は時期によって絵画や写真が展示されていて、いつ行っても面白いです。ヨーロッパでは一人で行動する人は珍しいと聞いたことがあります。このご時世や私の観光客っぽい見た目も相まって、特に不便を感じたことはありません。どこから来たの？と聞かれたり展示内容について教えてくれたり、親切な人が多いです。

前回の報告書でも書いた通り、サラマンカには日本に興味がある人がたくさんいます。日本語とスペイン語の交流会だけでなく、大学や語学学校の授業でも話しかけてくれる人がたくさんいます。文献学部と翻訳学部では日本語を学ぶことが出来るので、日本人の先生もいるし、アシスタントとして授業に参加する時もあります。幸運なことに、同じ授業を取っている子が日本に興味があって、それをきっかけに仲良くなって遊びに誘ってくれることがよくあります。日本の文化が好きなの！このアニメは知ってる？とかひらがなかわいいよね！と日本のことについてたくさん褒めてもらえるし会話のきっかけにもなるので嬉しいです。日本にいとそれが普通で、あまり深く考えたことがなかったけど、スペインに来て日本の文化を誇らしく感じるようになりました。会話の機会が増えることは言語を習得する上で重要なことなので、会話を楽しみながらスペイン語が上達させられたらいいなと思います。私はもともとあまり会話が得意ではないですが、違う言語を話す時は違う人格になる人もいると聞いたことがあるので、そうなれるように人との交流を積極的にするようにしています。なかなか自分では言語の上達は分かりま

せんが、久しぶりに会った友達がスペイン語前よりうまくなったね！と言ってくれたりするととても嬉しいです。少しずつですが身につけていることを信じて、残り約半分の留学生活を楽しみたいと思います。

そして無事に太ったのでダイエットを頑張っています。スペインの食べ物は大きいし油がすごいです。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/02/01～2022/06/17)

1. 勉学の状況

テスト期間が終わり、ほとんど休みもなく後期の授業が始まりました。後期では、日本語からスペイン語への翻訳とアジア諸国の社会学、児童図書館論の3つの授業を取りました。前の2つは先輩が取っていたので私も取ることにしました。児童図書館論はシラバスを見て面白そうだったのと、課題重視の授業ということでチャレンジしてみようと思ったからです。

翻訳の授業では、單元ごとに日本語特有のコンセプトが取り上げられ、その解説をした後に、問題を解きながらそのテーマに沿ったテキストの翻訳を完成させていくものでした。今年度はメールでの敬語表現や日本文化のパンフレット、漫画などを教材として授業を進めていました。改めて説明されると新鮮なテーマが多く、授業に参加していて楽しかったです。これらのテーマは日本人にとっては当たり前のことなので理解するのは簡単ですが、授業中にクラスメイトと話し合いながら訳を完成させていくので、スペイン語で説明するのが難しかったです。日本人としての意見に頼ってもらえることが多かったのも、ちゃんと説明できるようにならなくちゃ！と強く思いました。自分で訳を考える必要があり、單元ごとに課題がありましたがそれほど大変ではありませんでした。最終試験では、これまで出てきたテキストについての問題が多く出た上持ち込みOKだったので、成績も悪くありませんでした。

続いてアジア社会学の授業では講義がメインでした。韓国・中国・北朝鮮・日本の4つの国に分けてそれぞれの社会システムなどを学びました。日本人にとっては聞き馴染みのあることが多く、理解するのは簡単だと思いますが、用語がスペイン語なので新鮮でした。日本の高校では世界史が必修なので、他国のことについてなんとなく知っていますが、驚いたことにスペインでは歴史の授業でヨーロッパのことしか取り上げないそうです。だからクラスメイトの質問が新鮮で興味深かったです。日本についての單元では、和のコンセプトや社会における内と外のとらえ方を学びました。自分たちの行動を客観視する機会になったと思います。中間・最終テストはすべて選択問題でした。授業の内容をスペイン語で整理できていれば簡単なものだと思います。

最後の児童図書館論では、児童図書館においての本の分類の仕方から読書のためのアクティビティや季節の特集コーナーなどの企画について幅広く学びました。これは3・4年生向けの授業で、課題がメインでした。自分が司書になったつもりで企画を考えたり紹介する本を提案したりするのが楽しかったです。一番難しかった課題は、本の紹介パンフレットを作るものです。私は日本の子供の生活をテーマにして本を選び、デザインを考えました。これまで勉強したことを使って自分で全て考えなければいけないところが、自由度が高くて楽しかったけど難しかったです。また、自分の選んだ本をsnsで紹介する文章を考える課題や、youtuberのように紹介する動画を撮る課題もありました。常に課題に追われていましたが、最後の授業のプレ

ゼンでは褒めてもらえてうれしかったし達成感がありました。大変でしたが取ってよかったなと思います。

語学学校ではB2 レベルに上がり、新しいクラスメイトと勉強しました。最後のテストも無事合格し、一安心しています。

2. 生活の状況

新学期になり、新しいクラスメイトと出会いました。友達と会う時は大体誰かの家かバルかレストランでがっつり食事が多いです。サラマンカは街が狭いこともあり、明日会おう！とかこの後ご飯食べていこう！と言われることが多いのですが、私は友達と遊ぶときは一週間前くらいから準備したい派なので最初は戸惑いました。でも最後の方は少し慣れたと思います。あと友達と遊ぶときに全く知らない人が急に来ていたりして、誰？となりますが大体恋人だったりします。先に言ってほしいと最初は思っていたのですが、もう大分慣れました。恋人をいろんな人に紹介する文化は、海外らしいなと思いました。

4月には大型連休の *semana santa* があり、勉強のいい息抜きになりました。でもサラマンカは学生の街なので、休みの時は多くの人が実家に帰ってしまって少し寂しいです。こっちに残った子たちや留学生たちと一緒に過ごしました。

料理に関しては、粉末オートミールにはまっていました。簡単なケーキを作るのにぴったりです。ロールドオーツは日本のスーパーでもよく売られていて、粉末にするためにフードプロセッサーが必要な場合が多いですが最初から粉になっていて便利です。甘いものが食べたい時や朝食にプロテインと混ぜてよく食べていました。自炊はずっと簡単なものしかできませんでしたが、友達の家で手料理をご馳走になったり、日本食について聞かれたりする時にはいつも、料理が出来たらいいなと思いました。何より、語学学校の最終日に各国の料理を持ち寄ってちょっとしたパーティーをして、私はちらし寿司を初めて作って持って行ったのですが、全然美味しくなくて本当に悲しかったです。実家に帰った時に母に教わろうと思います。外食に関しては、家の近くにインドカレー屋さんを見つけて幸せでした。スペインに来て一番おいしい！と言ったらスペイン人に笑われました。

また、サラマンカ大学の学生なら無料で使えるジムがあると知ったので、最後の方は週3回くらい通っていました。予約制で、大学のメールアドレスとパスワードを持っていればサイトにログインして時間を指定することができます。ジムに行ったことがないので分かりませんが、想像よりも大分小さくて驚きました。広すぎるところより落ち着くと思うし、基本的な器具はそろっているのが良かったです。初めて行ったときに器具の使い方が全く分からなくて戸惑っていたら、周りの人が教えてくれたので良かったです。

後期も終わりに近づくと、帰国について考えるようになりました。10か月と聞くと長いと思っていたがいざ経験してみるとあっという間だったと思います。希望する職種やこれからやりたいことについて何も考えていなかったのが、帰国した後に何をしよう？せっかく留学したのに何も変わっていないんじゃないか？と不安になることも多かったです。あとわずか

なんだからスペインにいることを楽しもうと考えるようにしました。とりあえず英語の勉強を始めたり友達と遊ぶようにしたりしました。また、テストが全て終わってからの何日間かはサラマンカの街を改めて探検してみました。いろいろ知った気になっていたけど知らない場所がたくさんあって、10か月という短い期間では全く足りないと思いました。大聖堂やトルメス川はもちろん、ポンティフィシア大学の塔からの眺めがとってもいいので、おすすめです。もっと早く行っておけばよかったと思いました。さらに、帰国前に慌てて日本へのお土産を買ったのですが、何を買ったらいいかすごく迷いました。ハムは法律上持ち込み禁止なのが悲しいです。友達はハム味のポテチを買っていました。私はハムを使ったパテを買いました。スペインは物よりも食品が有名なのでスーツケースに入れるのが不安でした。あと夏なのを忘れてチョコレートを買ってしまい、溶けてしまったので残念です。チーズも柔らかいものは腐ってそうで不安になっています。買ってよかったのは洋服です。重いしかさばりますが、着るとスペインのことを思い出すことができるので良いです。マドリードに古着屋さんが多くある通りがあって、そこにかわいいお店がたくさんあります。スペインで有名なブランドものが好みではないけど現地でしか買えないものが欲しい人にはおすすめです。

最後に、留学に行ってもよかったと思いました。語学力だけでなく行動力や少しのコミュニケーション力などこれからの人生において役立つ力がついたと思います。私は周りから留学しなそうなタイプだと言われてきたので、これから大変なことがあっても、まあ海外で生活できたしな、と思うことが出来ると思います。綺麗な街並みでたくさんの友人に出会うことができたのは、間違いなく忘れられない経験になりました。